



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人 近江ちいろば会

ふれあいの家 おしどり

おしどり ふれあいだより

第 105 号 (2019 年 8 月号)

〒520-3244 湖南市サイドタウン 3 丁目 15-18

社会福祉法人 近江ちいろば会
ふれあいの家 おしどり

TEL (0748) 74-0005 / FAX 74-0403
E-mail oshidori@chiiroba.jp

7月のお出かけは、 びわ湖とフランス料理！

3か月に一度の外出のお出かけ。今回は、琵琶湖大橋西岸のフランス料理へ行きました！

今回のお出かけをするにあたり、事前に計画をみなさんと立てた時に、ブラジル出身のAさんから琵琶湖を見たいという意見が出ました。来日して湖南市に20年近く住んでおられますが、琵琶湖を実際に見たことがないとのこと。この言葉に、琵琶湖をよく見たことがないという声も聞かれ、初夏の琵琶湖の眺めも楽しみとなりました。

この日のメニューは、赤かぶらのソースのサラダに始まり、かぼちゃのスープと手作りパン、そしてメインの料理！コーヒーにデザートのコースでお腹がいっぱいになりました。



食後は道の駅で買い物をし、もう一つの目的であった琵琶湖をゆっくりと眺め楽しみました。



「きれいな景色が見られた！」と、帰りの車中でも話がつきませんでした。

Bさんから「きれいな景色。もう来てもできひんなあ。琵琶湖ももう見おさめやで〜」と、冗談？本気？の言葉に、みんなで笑いながら「また来よう！また行きましょう！」と声を掛け合いました。

“またあそこへ食べに行きたい”、“もう一回あの景色が見てみたい”こんな素朴な想いをもち続けることが、生活意欲・生きる意欲につながります。元気でさえ居ておしどりに来ていたらまたこんな出会いがある…。定期的にお出かけを計画する意義がここにあるのではないかと思います。



「おいしかった〜！この値段でこんなお料理が食べられるなんて！！か月に1回のペースで来たいわね！」

「いいお店を教えてもらった。また行くところが増えたわ〜！」

認知症のお話 第2弾 ～理解と関わり編～



先月の「認知症の（予防編）」に続き、今月は「理解と関わり」編を、学びの会で行いました。認知症になるとどんなことに不安を感じるのか、周囲の人はどのように関わったらご本人の安心につながるのかなどを、“きらめき認知症シスターの職員”が、ゆっくりと話をしました。みなさん大きく頷きながら「相手の立場に立って接するようにしなあかね」と、熱心に聴いておられました。

みんなで歌おう会♪

曲目が増えて、大画面で歌いやすくなりました！

月に一回ふれあい楽舎で開催している「みんなで歌おう会」。昔なつかしい様々な歌をみなさんで歌っています。令和最初となる5月からは、スクリーンに歌詞を映し出して、大画面を見ながら歌えるようになりました。なつかしの歌もさらに充実したので、ぜひ一緒に大きな声で歌って1時間を楽しみませんか！？参加者からは「今までは歌詞の本を見ながらだったけど、顔を上げて前を見て歌えるようになった」と、とっても好評です。ボランティアさんによる生のピアノ伴奏がある日はさらに華やかになります！



**みんなで
歌おう会**
毎月第3火曜日
13:30~14:30
ふれあい楽舎にて
参加無料です

8月9月は、8/20 9/17の予定です。
ピアノ伴奏ボランティアさん募集しています。数か月に1回でも来ていただける方のご連絡お待ちしております♪

ふれあいの家の活動が、 月刊誌に掲載されました！

全国社協の月刊誌「ふれあいケア」8月号にて、おしどりのふれあい活動について掲載されました。地域に根差しつつ歩んでいる活動が、雑誌というひとつの形としてその存在が刻まれました。このことを力に、さらなる地域密着を目指して活動していきたいです。



「おしどりふれあいだより」は、法人のホームページにも掲載しています。また、ふれあいの家の日々の活動もブログに掲載しています。ぜひご覧ください！

ふれあいの家おしどり

検索

おしどり 4コマ劇場 その76. 聞こえてるようで...



☺ 「金出してね」と言われたら、だれでもためらいますね。

介護のことや介護保険のことで 悩んでいませんか？

介護のフロ・おしどり職員がご相談に応じます。
日頃の疑問や悩みを一緒に考えてみませんか？
どんなお話でも結構です！ふれあい楽舎に気軽に
お越しください。

毎週木曜日 10時~11時
(*日時は変更になる場合もあります)